

福祉懇談会（新津東部地区）	出席者
	新津東部地区社協 古川会長、中野副会長、和泉会計 新津東部地区民児協 小林会長、木津副会長、馬場副会長 秋葉区社協 横山事務局長補佐、小林、時田
日時：令和5年5月18日（木）9:50～10:50	
会場：新津地区勤労青少年ホーム	

		課題・具体的な取り組み（現況）	R5年度の取り組み	備考
高齢者	居場所	<p>*サロンの現状</p> <p>□金沢町</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月3回開催。内容は手芸、歌、茶話会など。 <p>□草水町</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほそぼそと継続している。 ・新しい人が入ってこない。 <p>□北上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化、役員の引継ぎがうまくいかず、サロンが解散してしまっただ。 ・アンケートで叙情歌が好きな人が多いことが分かり、叙情歌部を作った。老人クラブの勧誘から声をかけるのではなく、叙情歌部に参加した方へ老人クラブの勧誘を行っている。 <p>□新町</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内会主体でふれまち委員と連携してサロンを運営している。 ・以前は参加者が60名ほどだったが、コロナの影響で、40名ほどに減ってしまった。 ・食事の提供や交流などを行っている。 		

		課題・具体的な取り組み（現況）	R5年度の取り組み	備考
高齢者	居場所	<p>*サロン運営の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> • 細く長く続けていくことが大切。（なくなってしまうと立ち上げるのに苦労する。） • 町内の掲示板を活用して周知している。 • 参加者が増えるよう、魅力ある活動をする 것도大切。 • 今いる人が継続して来れる内容にすることも大切。 • 世代を超えた交流を検討していく。 • 町内のお楽しみ会を楽しみにしている方が多いため、町内の行事でサロンの参加を促す。 • できる人でやっていくことも大切ではないか。 • 年をとると人との交流を煩わしいと思う方もいる。 • 老人クラブを活用していく。 <p>*サロンの課題</p> <ul style="list-style-type: none"> • 参加者、運営者の高齢化 • 後継者不足 • コロナによる参加者の減少 • 移動手段のない方への対応 • 身体が不自由な方への対応 	<p>■いきいきサロン</p> <p><u>総会でサロンの事例発表</u></p> <p><u>情報交換会の開催</u></p> <ul style="list-style-type: none"> • サロンを運営している人の話を聞きたい。 • 助成を受けていない団体も対象にしたい。 	<p>コミ協 地区社協 各サロン</p>
	健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> • 健康づくりの集いの参加者が少なく、いつまで続けていくとよいのかと思うこともある。 • 医学的なものでなく身近な内容のものがよい。 • 食の健康は興味のある方が多い気がする。（試食など） • タクシーを活用した送迎ができる体制は整えている。 • 開催にあたり区と話し合い、検討している。 • 軽い運動もできるとよいのでは。 	<p>■健康づくりの集い</p> <ul style="list-style-type: none"> • 内容や周知方法等検討 	<p>コミ協 地区社協</p>

		<ul style="list-style-type: none"> 今年度は区の協力を経て特定検診の結果の確認、血管年齢検査、輪投げを予定している。 		
	見守り	<ul style="list-style-type: none"> 町内で見守りのしくみをつくり、コミ協が町内の見守り活動を支えるシステムを検討する。 新町はふれまち委員でおせち料理を届けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ■おせち料理配食事業 ・地域で配達できるか検討 	コミ協 地区社協
多世代	交流	<ul style="list-style-type: none"> 初夏の新津川遊歩道を歩きましょうは人とのつながりとなるよい機会となっている。 山や川などの資源を活用したつながりについて検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■初夏の新津川遊歩道を歩きましょう ・継続して実施 	コミ協 地区社協
	居場所	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの居場所と併せて高齢者など誰でも参加できるような居場所があるとよい。 こども家庭庁の動きはどうなっているのだろうか。 電気代も上がるため、暑い日に涼める場所などから始めていくこともできるのでは。 役を持ったり、趣味をしたりと行く場所があること自体が居場所となっている。 行ける場所が多いほどよい。 居場所をたくさん作ってあげたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ■子どもの居場所 ・誰でも参加できるような居場所があるとよい 	
人材育成	研修	<ul style="list-style-type: none"> 近隣の人とつながることが大切 人との付き合い方のノウハウを学べるとよいのでは 	<ul style="list-style-type: none"> ■勉強会の開催 	
自治会・町内会	支え合い	<ul style="list-style-type: none"> 東部地区は広く横に長いため、自治会・町内会ごとに取り組みをしていく方がよい。 すべての活動が支え合いのしくみづくりにつながるように活動している。 	<ul style="list-style-type: none"> ■助成金 ・東部地区社協より助成金を出して町内ごとの活動を支援していく。 	コミ協 地区社協 自治会・町内会